

巡視船艇整備事業 評価書

平成29年度		新規事業採択時評価			
事業名(箇所名)	大型巡視艇(23m型)2隻建造	担当課	船舶課	事業主体	国土交通省 海上保安庁
		担当課長名	矢頭 康彦		
事業内容	大型巡視艇(23m型)2隻の建造及び就役				
配備管区及び主な活動海域	調整中				
整備期間	開始	平成29年度	完了	平成29年度	
総事業費(億円)	約18億円				
運用開始年度	平成30年度				
耐用年数	20年				
本事業に関連する事業	老朽巡視艇の解役				
政策(施策)目標	政策目標:安全で安心できる交通安全の確保、治安・生活安全の確保 施策目標:船舶交通の安全と海上の治安を確保する				
事業の効果分析	<p>(1)必要性・緊急性</p> <p>大型巡視艇(23m型)整備の必要性 (ア)大型巡視艇(23m型)は、海上交通の安全を確保するため、船舶の輻輳海域における航路しょう戒に従事し、海上交通センター等と連携して航行船舶に対する情報提供、指導等を実施することから、老朽・旧式化した巡視艇を速力、監視能力等を向上させた大型巡視艇(23m型)に代替整備する必要がある。</p> <p>(イ)また、地震・津波等の大規模災害が発生した場合、湾内に大量の漂流物が散乱し、海上交通を著しく制限するだけでなく、陸路、空路からの交通手段が遮断される可能性があることから、漂流物等が広範囲に散乱した海域及び港内においても海上からの災害救援物資を迅速・安全に搬送するための速力、性能等の災害対応能力を強化した巡視艇へ代替する必要がある。</p> <p>大型巡視艇(23m型)整備の緊急性 (ア)現有の大型巡視艇(23m型)はいずれも、建造から25年以上経過しているため、甲板破口や主機関の故障等が発生しており、乗組員の安全性が低下している状況にある。</p> <p>(イ)また、代替整備が遅れることにより、基幹装備品の故障や腐食による船体損傷等が増加し、迅速な現場進出や災害対応等本来の任務を全うすることができない状況となっていることから、一刻も早く大型巡視艇(23m型)を整備する必要がある。</p>				
(2)事業の効果	<p>本事業で大型巡視艇(23m型)を整備することにより、期待される業務上の効果は以下のとおり。</p> <p>速力の向上により、対象船の的確な追尾、現場海域への到達時間の短縮が可能となる。</p> <p>夜間監視装置により、夜間取締能力の強化、監視・探証が可能となる。</p> <p>防災情報等表示装置により、付近航行船舶に対し、昼夜を問わず視覚的に意思伝達が可能となる。</p> <p>災害対応用デッキを装備することにより、物資等の緊急輸送等の災害対応能力の強化が可能となる。</p>				
(3)主たる効果の抽出	整備しようとする大型巡視艇(23m型)は、災害対応能力、速力、操縦性能、夜間監視・探証能力等が強化されており、海上交通の安全確保及び大規模災害発生時の救援物資搬送等の事案対応体制の強化を図ることができる。				
事業の総合評価 (第三者(外部有識者)委員会の意見等)	事業内容及び評価結果が適当であると判断。				

【大型巡視艇(23m型)】



【23m型巡視艇の老朽化状況】

23メートル型巡視艇の老朽化状況

